

平成 22 年度春季放射線分科会幹事会議事録

日時 平成 22 年 9 月 15 日 (水) 12:00 ~ 13:00

場所 長崎大学 教育学部 2F 25 番教室

出席者 (敬称略、順不同)

幹事：神野郁夫(京大)、渡辺賢一(名大)、宮本由香(千代田テクノル)、寺沢和洋(慶大)、豊川秀訓(JASRI)、小平聡(放医研)、斎藤勇一(JAEA)、小嶋拓治(JAEA)、緒方良至(名大)、日塔光一(東芝)、片岡淳(早大)、錦戸文彦(放医研)、三戸美生(アクロラド)、河野良介(国立がん研究センター)、山田崇裕(RI協会)、若林源一郎(九大)、芳原新也(近大)、富田英生(名大)

オブザーバー：尾鍋秀明(レイテック)、前畑京介(九大)、持木幸一(東京都市大)、納富昭弘(近大)、小田啓二(神戸大)

配布資料

1. 資料 1 平成 22 年度春季放射線分科会幹事会議事録(案)
2. 夏の学校
 - 資料 2-1 「第 22 回放射線夏の学校」報告
 - 資料 2-2 これまでの夏の学校開催地
3. 会誌「放射線」出版について
 - 資料 3-1 会誌「放射線」出版状況
 - 資料 3-2 「放射線」編集簡易マニュアル
4. 「学術講演会 シンポジウム」
 - 資料 4-1 2011 年春シンポジウム企画案
 - 資料 4-3 1989 年以降のシンポジウムテーマ一覧
5. 放射線賞について
 - 資料 5-1 第 16 回「放射線賞」選考結果について
 - 資料 5-2 第 17 回「放射線賞」募集について
6. 幹事選出
 - 資料 6-1 次期幹事選出について
 - 資料 6-2 歴代幹事(2000 年以降)
7. 募集分科の見直し
 - 資料 7 募集分科の見直しについて
8. 2011 年度 事業計画について
 - 資料 8 2011 年度 事業計画

議題

1. 前回議事録確認

資料 1 により平成 21 年度秋季放射線分科会幹事会議事録の確認が行われ、了承された。

2. 2010 年夏の学校報告・来年度の夏学校について

資料 2-1 により宮本幹事から今年の「放射線夏の学校」の報告があった。また、収支報告に関連して、正会員の参加割合が例年より高く、結果として黒字になった旨報告があった。活性化支援金については、その扱いを会計の日塔幹事から事務局に問い合わせることとなった。

来年度の夏の学校は、幹事校を東北大学(越水先生)にお願いした旨報告があった。

3．会誌出版計画、編集進捗状況等

資料 3-1 により富田幹事より、会誌「放射線」の出版・編集進捗状況の説明があり、これまで、出版時期が大幅に遅れていたが、立て続けに出版作業を進めた結果、ほぼ正常の出版時期に回復した旨、報告があった。また、未出版である中澤先生追悼号については、完成し次第出版し、巻号については、その時の最新の番号を付すことが確認された。

今回の医学物理士シンポジウムの特集号と同じ内容の原稿を医学物理士会の会誌にも掲載する件については、著作権に関して、事務局と確認をとりながら進めることが確認された。さらに応用物理学会九州支部・放射線分科会・アジア放射光バイオメディカルイメージング会議合同企画「放射光を用いた医学生物学イメージング現状と将来」から機関誌「放射線」に代表して一遍の解説論文を掲載することが確認された。

また、従来の B5 サイズから A4 サイズ化の検討を進めることが確認された。

4．シンポジウム・研究会・講演会企画

三戸幹事から、資料 4-1 にもとづき「2011 年春季シンポジウム企画」について、ピクセル型検出器を首題としたものにするとの説明があった。一部、講演内容が最近のシンポジウムの講演者と重複するため、JAXA 佐藤先生 JAEA 山口先生、KEK 海野先生 理研 初井先生へ変更したほうが良いとの意見があった。

5．放射線賞について

資料 5-1 により第 16 回放射線賞の選考結果についての報告があった。また、資料 5-2 により第 17 回放射線賞の募集について説明があり、幹事からも積極的に推薦することが確認された。

6．次期幹事選出について

資料 6-1 により次期幹事の選出方法についての説明があった。基本的には、退任する幹事が後任候補者を挙げ、極力内諾をとることが確認された。

7．「募集分科の見直し」について

資料 7 により緒方講演企画運営委員から募集分科の見直しについて説明があった。特に、1.2 放射線発生装置・理工学応用の発表件数が少ないことが報告されたが、分科の見直しについては幹事長・副幹事長で一度検討を進めることが確認された。

8．2011 年度事業計画について

資料 8 に基づき、神野幹事長より 2011 年度の事業計画について説明があった。

9．その他

特になし。

以上

文責 渡辺賢一